

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和 6 年度実施事業に係る事務事業評価					6584	旧豊田貯水池利活用事業				財務部	公有資産マネジメント課
1 事業概要		中事業番号		1640								所属コード	092100
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	11.3 11.b 13.1 15.1		4-2							公有資産活用調整会議等により、旧豊田貯水池の利活用を検討する。	水辺空間等として快適な住環境を整備する。 （360年以上にわたり、ため池や貯水池として利用してきたことを踏まえ、今後の有効活用等について検討を進める。）	
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち												

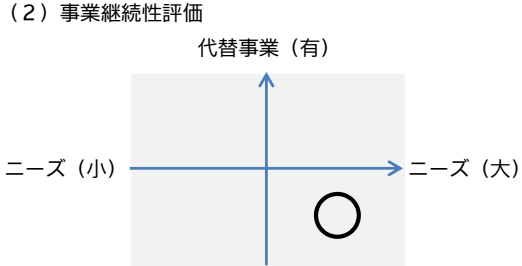
事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
平成24年度末をもって豊田浄水場の機能を堀口浄水場に統合し、豊田浄水場を廃止した。	旧豊田貯水池の利活用については、平成21年から庁内検討会や公有資産活用会議等において各種検討や課題の分析を継続して行ってきたが、結論に至っていない。	平成31年度（令和元年度）から設置した「郡山市旧豊田貯水池利活用検討推進本部」、「旧豊田貯水池利活用懇談会」において、当該地の利活用についても「気候変動対応型」とすることが重要であることから、「防災・減災・リスクマネジメント」の視点を重視した「旧豊田貯水池利活用方針（案）」を議論のたたき台として取りまとめている。 また、市民へ広く周知を図るため令和5年12月から一般開放を行い、令和6年度には回遊性を向上させるため、「文学の森資料館」とを結ぶ通路整備等を行った。令和7年度から開成山地区体育施設がリニューアルオープンとなり、また旧豊田貯水池の東側に位置する豊田浄水場跡地においては、令和9年夏頃を目途にデンソーエアリービース練習用体育館が建設される予定である。	開成山地区体育施設のリニューアルオープンや豊田浄水場跡地におけるデンソーエアリービース練習用体育館の建設計画により、旧豊田貯水池の利活用への市民の関心度は更に高まっている。 少しでも多くの市民に旧豊田貯水池に足を踏み入れてもらい、歴史的遺構等について触れ理解を深めていただき、今後の利活用について関心を持ってもらうことが必要である。

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	旧豊田貯水池	箇所		1		1		1								
活動指標①	公有資産活用調整会議等の開催数／（R7～）ウェブ・広報誌等における情報発信	件	2	8	2	3	2	1	5		5		5			
活動指標②		件														
活動指標③																
成果指標①	利活用に係る基本構想の策定／（R7～）利活用に係る市民、団体及び会議委員等からの意見	件	-	0	-	0	-	0	10		10		10		-	-
成果指標②																
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	旧豊田貯水池の検討に要する会議1回あたりのコスト	千円		16,929		16,298		15,933								
単位コスト（所要一般財源から算出）	旧豊田貯水池の検討に要する会議1回あたりのコスト	千円		16,929		16,298		15,933								
事業費		千円		7,973		7,570		7,678	15,721		15,721		15,721			
人件費		千円		8,956		8,728		8,255	8,956		8,956		8,956			
歳出計（総事業費）		千円		16,929		16,298		15,933	24,677		24,677		24,677	0		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		16,929		16,298		15,933	24,677		24,677		24,677	0		
歳入計		千円		16,929		16,298		15,933	24,677		24,677		24,677	0		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
旧豊田貯水池利活用検討推進本部会議を1回行った。 市議会より早急に結論を出すことなく、市民の幅広い意見を把握し、十分な議論と意見の反映を通し慎重に検討していくように提言があったことから、令和7年度より活動指標を公有資産活用調整会議等の開催数からウェブ・広報誌等における情報発信の件数に変更する。	基本構想の策定までには至らなかった。 かつては「旧豊田貯水池利活用方針（案）」を作成したが、先の理由のとおり、令和7年度より成果指標を基本構想の策定から利活用に係る市民、団体及び会議委員等からの意見の件数に変更する。	【事業費】 市民に現地に足を運んでもらい、幅広い意見をいただけることを目的に、開成山地区との回遊性を高めるため、「文学の森資料館」とを結ぶ通路を整備した（文学の森資料館通路及びベンチ設置委託 2,090千円）。また、整備事業以外にも市民の安全面を考慮し堰堤の維持管理業務を実施（緑地等維持管理業務委託 4,070千円）しており、事業費は前年比で微増となっている。 【人件費】 現地見学会や会議等の開催件数が減少したことに伴い、人件費については減少している。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		4
4 活動指標（活動達成度）		3
5 成果指標（目的達成度）	成果に至っていない	



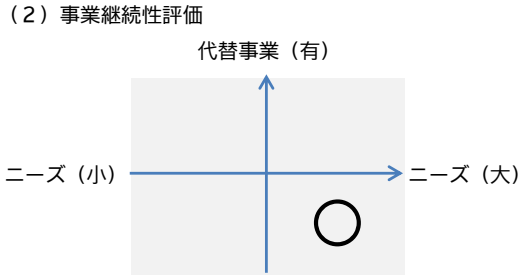
継続	一次評価コメント
これまでの郡山市旧豊田貯水池利活用検討推進本部や有識者懇談会等における検討結果を踏まえ、気候変動に対応するため「防災・減災・リスクマネジメント」をを基本方針とした利活用を検討している。 令和7年度には、宝来屋ボンスアリーナ北側からの回遊性も高めるため、駐車場とを結ぶ通路整備を行う予定である。今後も認知度の向上を図り、より多くの市民からの意見を取り入れ利活用について検討していく。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
			○		○

気候変動対応	D X （デジタル市役所）	部局間協奏
○	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		4
4 活動指標（活動達成度）		3
5 成果指標（目的達成度）	成果に至っていない	



継続	二次評価コメント
令和6年度は、旧豊田貯水池について市民に広く知っていただく取組みの一環として、旧豊田貯水池の回遊性向上のため通路整備を行った。散策路利用者の増加に伴い、市民の関心が高まり市民アンケートの数が増加することが期待できる。 市街地に位置する旧豊田貯水池は、広大な面積を有し立地条件からもポテンシャルの高いエリアであり、今後においても市民、各種団体及び市議会からの意見を踏まえながら有効な利活用を図るため、継続して事業を実施する。	

（参考）令和6年度カイゼンのための行動計画